

平成25年度 学校自己評価システムシート (埼玉平成中学校)

目指す学校像	創設者山口茂先生の唱えた「為すことによって学ぶ」の建学の精神のもと、「創造・自律・親切」を校訓として、心豊かで国際感覚を身につけた人材、また多くの体験を通して、真の学力とたくましさを身につけた生徒を育成することを目標とし、個々の能力を最大限に伸ばす、中高一貫ならではのゆとりある教育機関を目指す。
---------------	--

重点目標	1 キャリア教育を通して、将来の夢の構築を育む指導 2 大学受験に向けた合格力を身につける学習指導 3 国際社会で活躍するための生きた英語教育の充実 4 本校の伝統にそった生徒指導の充実
-------------	--

達成度	
A	ほぼ達成 (8割以上)
B	概ね達成 (6割以上)
C	変化の兆し (4割以上)
D	不十分 (4割未満)

出席者	
学校関係者	3名
事務局(教職員)	5名

学校自己評価						
年度目標				年度評価(3月15日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	中高一貫コースとして、具体的に育てたい生徒像を具現化するため、その一手段としてキャリア教育を充実させる事で示したい。具体的に現在の学校行事や様々な取り組みの深化と学校全体のコンセンサスによる生徒の更なる成長と将来のあるべき姿を育む教育を図りたい。	キャリア教育を通して、将来の夢の構築を育む	<ul style="list-style-type: none"> ・ステージ、学年ごとにしっかりと目標を立て、生徒につけさせたい力をプランニングする。 ・上記に基づき、体験学習等を明示し、計画的・体系的なキャリア教育を確立する。 ・職業体験、講演会等を行い、勤労観、職業観の形成・確立の一助とする。 ・キャリア教育を通して、学ぶことの意義を再認識させ学習意欲を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標は立てられたか。 ・体験学習を計画的に実施できたか。 ・職業体験は実施できたか。 ・講演会は実施できたか。 ・学習意欲は向上したか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標設定と同時にステージ学年で現状に応じたプランニングを実施した。 ・学年ごとの体験学習を実施した。 ・野村総研でコンビニ経営職業体験(中3) ・JICAで海外青年協力隊員経験談講演(中2) ・外務省大臣官房広報室外務事務官より講演(中3) ・ベネッセ学力推移調査アンケートで家庭学習時間が学年頭初より増加した。 	A A B B A
2	すぐ近くにある目標への現実的に乗り越える力を育む。この課題は昨年に引き続くものであるが常に自覚せねばならない課題といっても良い。今年度も更なる深化を図るべき課題として力を注ぎたい。	大学受験に合格できる力をつける	<ul style="list-style-type: none"> ・全教職員が大学実績を向上させるべく、共通意識を持って取り組む。 ・大学進学実績の数値目標 国公立5名、難関私大15名以上 ・自習室を活用させ、いつでも生徒の質問に対応できる態勢をつくる。 ・家庭学習を定着させ、自学自習の習慣を確立させる。 ・定期的な個別面談(年間5回)を実施し、細かな目標設定を示す。 ・夏期補講、センター対策合宿等、長期休業中にもさらに学力を向上させるべく様々な対策を実行する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学進学実績数値目標を達成できたか。 ・自習室の利用状況は良かったか。 ・家庭学習は定着したか。 ・個別面談は計画通り実施できたか。 ・学力向上対策は実施されたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国公立1名(東京外語)難関私大15名と難関私大は目標達成。国公立は難関国立大学に合格できた。 ・放課後、英語・数学の教員が自習室に常駐し質問等にあたった。 ・能率手帳を利用し、家庭学習の計画、実施を図った。 ・個別面談を各クラスで5回ほぼ実施した。 ・学力向上委員会で、多岐にわたる学力向上対策の検討をし、有効な実施計画と実施を図った。 	B B A A A
3	本校は創立当初より、国際化教育を実施している。平成26年度入学試験に県内初の英語入試を実施するなど、英語を重視した教育を進めている。特に本校の重点教科として挙げ、国際社会で活躍できる人材を育みたい。	国際社会で活躍するための生きた英語教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・中等部での国内英語合宿、オーストラリア研修旅行の実施 ・中高希望者のホームステイの具現化 ・夏季長期休業を利用し、国内ミニ留学 ・中等部S選抜クラスのNHK基礎英語実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・国内英語合宿、オーストラリア研修旅行成果 ・ホームステイ成果 ・国内ミニ留学成果 ・中等部S選抜基礎英語成果 	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県ランゲッジヴィレッジで2年目の英語合宿及び研修旅行も現地交流校における内容の精査の上で実をあげた。 ・ホームステイの成果発表を英語のインタビュー形式で発表した。 ・国内ミニ留学、在籍の1/3参加 ・中3S選抜全員英検準2級合格 	A A B A
4	穏やかな生徒が多く問題行動も少ない。卒業までにたくましく生きることのできる人間へと成長させたい。まずは基本的な生活習慣の定着を徹底し、部活動で心身ともに鍛えたい。	本校の伝統にそった生徒指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・善悪の判断、行動のけじめをつけさせ、本校生徒としての誇りを持った学校生活を送らせる。 ・教職員、生徒による登校指導、校門指導の励行 ・制服をきちんと着こなし、品位ある態度を醸成する。 ・文武両道を目指し、学習と部活動との両立を図る。 ・問題行動を未然に防ぐため、生徒の行動をさらにきめ細かく把握するとともに保護者と密に連絡を取り合い、学校との連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登校指導、校門指導はできたか。 ・制服は、きちんと着こなししているか。 ・成績不振者は減ったか。 ・部活の参加率は良いか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校長をはじめ管理職による毎日の校門での登校指導、越生線沿線生徒指導委員会の中高の年3回の登下校指導 ・制服をしっかりと着こなし、マナーを身につけた生徒を育んだ。 ・成績不振者対象フォローアップ3教科(国・数・英)を各教科週一回実施により成績向上への対策を実施した。 ・運動部・文化部共に部活の参加率は高い。朝練習実施運動部もあり、成果も上がっている。 	A A A A

学校関係者評価	
実施日	平成26年3月15日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> ・実際に職業体験や会社見学を実施する事により、より一層学習へのモチベーションが上がると思われる。そのための協力は惜しみません。 ・計画を立ててしっかりやっている。 ・キャリア教育の中で平和教育という項目があるが、歴史感など難しい部分もあるがしっかりと行なって欲しい。 ・PDCAのサイクルを実施し更なる発展を進めて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・細かく、手厚く大学受験に向けて指導していただいている印象を受ける。中高一貫の一番の課題は「中だるみ」だと思う。そのために保護者ガイダンスをより活発に行い生徒と保護者両面からの進路指導で協力体制の強化を図ってはどうか。 ・小テスト等の解説を生徒に行わせ、学習教科の理解を深めさせる指導をしてはどうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・英検に加えTOEFL Juniorの校内受験など努力がうかがえる。 ・中3S選抜の生徒が全員英検準2級に合格した成果は素晴らしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より一層部活動にしっかりと取り組める生徒を育成させてはどうか。それにより集中力を身につけ学力を向上させる。 ・校外でのマナーはしっかりとしているが、生徒が広告塔になるような、もう一步踏み込んだ指導をお願いしたい。